

再評価調書（再々評価）

事業名		二級河川春木川 基幹河川改修事業			
所在地		岸和田市下野町地先～岸和田市尾生町地先			
再々評価理由		再評価後5年を経過した時点で継続中			
事業概要	目的	春木川は、流域の開発が進むとともに、H4ふるさとの川整備事業の認定(岸和田市)を受け、街づくりと合わせた整備を実施中である。洪水による被害を防止するため、H13より狭小部のJR橋(H16まで協定済)及び下轟橋の改築に着手している。			
	内容	改修延長：L=約4.2km 道路橋：13橋、JR橋：1橋、堰4基 用地取得：約48,000m <sup>2</sup> 目標流量：220m <sup>3</sup> /s (100年確率 時間雨量72.3mm) 治水安全度(現況)：約70m <sup>3</sup> /s (時間雨量25mm程度)			
	事業費	全体事業費 計画約 96億円 内投資事業費 約 76億円 内用地費 計画約 28億円 内用地費 約 27億円 (土地単価約5.8万円/m <sup>2</sup> ) 内工事費 計画約 68億円 内工事費 約 49億円 (工事単価約161.9万円/m) 再評価時点における事業費 約96億円			
	維持管理費	約 5百万円/年			
	上位計画	春木川水系工事実施基本計画(S57認可)			
	関連事業	ふるさとの川整備事業、尾生久米田土地区画整理事業			
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	再評価時点	現時点	分析
		事業採択年度 S56	S56年	S56年	
		事業着手年度 S56 完成予定年度 H20	S56年 H22年	S56年 H22年	
	進捗状況	用地 - %  工事 - %  整備延長 4.2km	用地 64%  工事 33%  整備済延長 2.6km (61%)	用地 96%  工事 79%  整備済延長 3.3km (79%)	用地・工事ともに、概ね計画通り推移している。
途中段階の整備効果発現状況	改修済箇所で氾濫防止効果あり。				
事業進捗に関する課題					

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	再評価時点での状況	現時点での状況	分析
		河川事業 ・想定氾濫区域 67.3ha ・浸水戸数：約 651戸	河川事業 ・想定氾濫区域：102ha ・浸水戸数：約 2,660戸	河川事業 ・想定氾濫区域：102ha ・浸水戸数：約 2,610戸	宅地化に伴う地盤高の上昇により、若干浸水戸数が減少している。
地元等の協力体制			関連事業 ・ふるさとの川整備事業 4.2km ・尾生久米田土地区画整理事業 48.5ha	関連事業 ・ふるさとの川整備事業 4.2km ・尾生久米田土地区画整理事業 48.5ha (H18完了予定)	
			ふるさとの川整備計画に基づき、地元市が緑道整備をする等、府・市が連携した整備を進めており、用地取得についても団体交渉により地元の協力のもと順調に進んでいる。	同左	概ね順調に推移している。

		計画時の想定		再評価時点での状況	現時点での状況(変更点)	分析
		備考				
事業効果の定量的分析	費用便益分析	下記、代替指標による		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>b / c = 8.72</math></li> <li>年便益 <math>b = 42.14</math> 億円</li> <li>年費用 <math>c = 4.83</math> 億円</li> <li>算出根拠 治水経済調査要綱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>B / C = 12.60</math></li> <li>便益総額 <math>B = 1,430.61</math> 億円</li> <li>総費用 <math>C = 113.56</math> 億円</li> <li>・費用便益算定の根拠：治水経済調査マニュアル(案)</li> <li>・便益内容：資産被害防止効果</li> <li>・受益者：周辺住民、農業従事者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未改修区間を改修することにより、洪水被害を軽減できる。</li> <li>・河川改修による十分な費用対効果が得られる。</li> </ul>
	その他の指標(代替指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>C / B = 16.6</math></li> <li>年平均被害軽減額 <math>B = 409.6</math> 百万円</li> <li>事業費 <math>C = 6,800</math> 百万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・便益内容：資産被害防止効果</li> <li>・受益者：周辺住民、農業従事者</li> </ul>			
事業効果の定性的分析	安全・安心	・浸水被害の軽減(生命、財産)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修目標流量に対する現況流下能力の割合 32%</li> <li>・現況の治水安全度：時間雨量 25mm 程度(2年確率程度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H13より狭小部のJR橋梁、轟橋の改築に着手。</li> </ul>	改修計画案を地元参加のワークショップ形式により検討しており、住民意見を反映した改修を実施している。  ワークショップ形式の導入により、地元住民の河川改修計画への積極的な参加が行われている。
	活力	(計画時には想定されていない)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの川整備計画に基づき、地元市が緑道整備を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修計画案を地元参加のワークショップ形式により検討中である。</li> </ul>	
	快適性	(計画時には想定されていない)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの川整備計画に基づき、周辺地域と調和した水辺空間の整備を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修計画案を地元参加のワークショップ形式により検討中である</li> </ul>	
	その他	(計画時には想定されていない)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの川整備計画に基づき、周辺の区画整理や公園等と一体となった水辺空間整備を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上流域で尾生久米田土地区画整理事業が実施されており、流域の開発が著しい。</li> </ul>	
自然環境等への影響と対策				春木川は市街化の進む中、多くの動植物の貴重な生育環境となっているため、動植物の生息環境に十分配慮する。	同左	ワークショップの中で、自然環境保全を含む改修計画の検討が行われている。
その他特記すべき事項		前回再評価時の意見具申・府の対応方針の概要	(意見具申)  (府の対応方針) 事業継続	今回再評価時点の反映状況		